

平成30年度 総務委員会 県外視察の概要

1 参加委員

喜多 宏思(委員長), 長池 文武(副委員長), 岡 佑樹, 中山 俊雄,
島田 正人, 樫本 孝, 元木 章生, 黒崎 章

2 視察日程及び視察箇所

視察日程	視 察 箇 所
7月30日(月)	味の素スタジアム, 武蔵野の森総合スポーツプラザ (東京都調布市) 東京都オリンピック・パラリンピック準備局 (東京都新宿区)
7月31日(火)	文京区子育て支援課 (東京都文京区)
	サイボウズ株式会社 (東京都中央区)

3 調査目的及び視察概要

(1) 味の素スタジアム, 武蔵野の森総合スポーツプラザ 東京都オリンピック・パラリンピック準備局

(調査目的)

本県では, 東京オリンピック・パラリンピック等の国際スポーツ大会の開催をはじめとしたスポーツ環境の変化にしっかりと対応し, 「スポーツ王国とくしま」への歩みを更に進化させるため, 新たに「徳島県スポーツ推進計画」を策定した。また, 「ラグビーワールドカップ2019」でのジョージア代表チームの事前キャンプが決定するなど, 国際スポーツ大会のキャンプ地誘致に取り組んでいるところである。

東京都においても, 「スポーツの力で東京の未来を創る」理念のもと「東京都スポーツ推進総合計画」を策定しており, 都民のスポーツ実施率70%を達成し, スポーツの力で人と都市が活性化する「スポーツ都市東京」を実現する取組について調査する。また, 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の新設会場第1号として平成29年11月に開設された「武蔵野の森総合スポーツプラザ」及びラグビーワールドカップ2019等の会場となる「味の素スタジアム」を現地視察し, 受入環境の整備等, 国際スポーツ大会を契機としたスポーツ振興の取組について調査する。

(視察概要)

味の素スタジアム, 武蔵野の森総合スポーツプラザの概要説明を受けた後, 施設を視察しました。また, 東京都オリンピック・パラリンピック準備局において, 国際スポーツ大会における受入体制及びスポーツ振興の取組等について, 説明を受けました。



(2) 文京区子育て支援課

(調査目的)

文京区においては、子供のいる生活困窮世帯に対し、企業等から提供を受けた食品等を家庭に配送するとともに、配送をきっかけに必要な支援につなげ、地域や社会からの孤立を防ぐ「子ども宅食」に取り組んでいる。その事業運営は、区やNPO団体等によるコンソーシアム（共同体）形式で実施し、事業の原資は、ふるさと納税を活用し、クラウドファンディングで個人からの寄附を広く募集しており、平成29年度は目標額の4倍の約8,000万円を超えた。

子供の貧困対策に向けた、平成29年10月から開始した新しい取組「子ども宅食」の概要及び効果、問題点等について調査する。

(視察概要)

地域や社会からの孤立を防ぐ「子ども宅食」の取組及び現状について、説明を受けました。



(3) サイボウズ株式会社

(調査目的)

同社が提供するグループウェアは、インターネット環境さえあれば、いつでもどこでも利用できるクラウドサービスを進化し、多様な働き方を支えている。離職率が28%と過去最高を記録した2005年以降、組織や評価制度を見直し、ワークライフバランスに配慮した制度や、社内コミュニケーションを活性化する施策を実施した結果、離職率は4%以下に下がり、「働きがいのある会社ランキング」に5年連続

ランクインした。

性別や国籍など関係なく、「100人いたら100通りの働き方」があるという考えのもと、社員それぞれが望む働き方を実現する取組について調査する。

(視察概要)

多様な働き方を実現する取組について説明を受けた後、社内を視察しました。

